

# 平成 30 年度京都市立学校教員採用選考試験実施要項

京都市教育委員会

【申込受付期間】	出願手続については11頁に掲載しています。	
出願の受付（郵送のみ）	平成29年4月18日（火）～平成29年5月18日（木）	（上記期間の消印のあるものに限ります。）
第1次試験（筆記試験）	平成29年7月1日（土）	
（面接試験）	平成29年7月2日（日）、8日（土）、9日（日）のうち、指定する日	
第2次試験	平成29年8月19日（土）、20日（日）の両日	

※ 試験日程や会場については志願者数等の関係により一部変更する場合があります。（会場の詳細は14頁）

平成30年度京都市立小学校教諭（幼稚園を含む）、中学校教諭、高等学校教諭、総合支援学校教諭、養護教諭及び栄養教諭の採用選考試験を以下のとおり実施します。

※本要項における「総合支援学校」とは「学校教育法上の特別支援学校に該当する学校」を指します。

※本要項における「国公私立学校」とは「学校教育法第1条」に掲げる学校を指します。

## <平成30年度の変更点>

- ・ 小学校英語教育推進コース（※）の資格要件を緩和（詳細3頁）

第1次試験の個人面接において「英語」に関する事項をテーマとし、通常の小学校区分と異なる配点としている本コースの資格要件を、「英検準1級以上」等から「英検2級以上」等へ緩和します。

## ※小学校英語教育推進コースについて

小学校における英語教育の一層の充実を図るため、3頁の受験資格を有する方を対象とした小学校英語教育推進コース（ただし、小学校英語専科担当の募集ではありません）を設けています。本コースは、第1次試験の個人面接において「英語」に関する事項をテーマとするなど、英語活用力をより重視した試験内容としています。また、第1次試験の個人面接については、通常の小学校区分と異なる配点としています（18頁を参照、最大15点の加点）。合否判定は、小学校区分全体で行います。

## 1 出願の区分及び教科並びに採用予定数

### (1) 一般選考

出願区分・採用予定教科等	採用予定数
① 小学校教諭 (小学校英語教育推進コースを含む)	150名程度
うち、幼稚園	若干名
② 中学校教諭 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・ 保健体育・技術・家庭・英語	70名程度
③ 高等学校教諭 国語・地理歴史・公民・数学・理科（地学）・ 英語	10名程度
④ 総合支援学校教諭	40名程度
⑤ 養護教諭	10名程度
⑥ 栄養教諭	5名程度

①から④の出願区分については、各出願区分（②、③は教科の区分、④は特別支援学校の普通免許状に加えて①、②又は③の出願区分）に相当する普通免許状を現に有する方、又は平成30年4月1日までに取得見込みの方は、該当する出願区分のうち、1校種又は2校種までの併願が可能です。

併願を希望する場合は19頁の表で、併願ができる区分を必ず確認してください。

## (2) 特別選考（詳細は7～8頁参照）

### ア 国際貢献活動経験者特別選考

出願区分	採用予定者数
一般選考で実施する区分・教科	5名以内

### イ フロンティア特別選考

出願区分	採用予定	採用予定者数
理数工コース	中学校・高等学校教諭 (数学・理科・工業)	10名以内
保健体育コース	中学校教諭(保健体育)	
英語ネイティブコース	中学校・高等学校教諭(英語)	

### ウ 身体障害者特別選考

出願区分	採用予定者数
一般選考で実施する区分・教科	一般選考に含める

## (3) 留意事項

(注1) 採用予定数は実施要項発表時点での見込みであり、今後、状況により変動する場合があります。

(注2) 志願書提出後の選考区分、出願区分、教科の区分の変更は認めません。

(注3) 高等学校教諭については、一般選考では1頁、特別選考では2頁の採用予定教科のみ募集し、その他の教科は募集しません。

なお、中学校・美術、音楽、保健体育の合格者については、採用時に高等学校へ配置する場合があります。

(注4) 小学校及び中学校の合格者であっても、採用時に総合支援学校に配置する場合があります。

(注5) 総合支援学校の合格者は採用時に総合支援学校(小学部・中学部・高等部のいずれか)に加え、小学校または中学校の育成学級に配置する場合があります、その後は他校種への異動も行います。

(注6) 全ての試験において、日本国籍を有しない方の受験が可能です。ただし、採用の際には任用の期限を付さない常勤講師となります。

(注7) 採用予定教科・分野であっても、選考の結果、採用を行わない場合があります。

### <大学・大学院推薦制度について>

学業成績優秀であるとともに、部活動やボランティア活動等の実績が顕著であるなど、大学・大学院における諸活動の実績を評価され、教師として優れた実践力を発揮することが期待できると学長等(学部長以上の職)からの推薦を受けた方(平成30年3月卒業予定者等)は、書類選考のうえ、合格者については第1次試験を免除します(個人面接及び適性検査については、第1次試験の日程のうち指定する日に実施)。

詳細については、京都市教育委員会ホームページ掲載の平成30年度京都市立学校教員採用選考試験大学・大学院推薦制度実施要項をご覧ください。

## 2 受験資格

一般選考については、次の(1)～(4)の全てに該当する方

※特別選考については、7頁を参照してください。

(1) 年 齢 (出願区分に応じた下表の生年月日に該当する方)

区分		平成30年4月1日 現在の年齢	生年月日
募集する全区分		45歳未満	昭和48年4月2日以降
特 例 ※2	<現職教諭等> 国公立学校等の教諭等(※1)として平成30年3月31日時点で在職している方	50歳未満	昭和43年4月2日以降
	<教職経験5年> 国公立学校等の教諭等(※1)及び常勤講師(臨時的任用職員)の勤務歴が通算5年以上(実勤務月数として通算60月以上)ある方		
	<企業経験10年> 同一の法人格を有する民間企業又は官公庁等で正社員又は正規職員として連続して10年以上の勤務歴がある方	55歳未満	昭和38年4月2日以降
	<教職経験10年> 国公立学校等の教諭等(※1)及び常勤講師(臨時的任用職員)の勤務歴が通算10年以上(実勤務月数として通算120月以上)ある方		

※1 教諭等… 教諭, 養護教諭, 栄養教諭, 任用の期限を付さない常勤講師

※2 特例における勤務歴は, 平成29年3月31日時点とし, 休職期間は除く。

(2) 出願する校種及び教科又は職に相当する普通免許状を有する方, 又は平成30年4月1日までに取得見込みの方

(注1) 幼稚園教諭の出願者は, 幼稚園の普通免許状とともに小学校の普通免許状を有するか, 平成30年4月1日までに取得見込みであることが必要です。また, 幼稚園専門筆記試験に加え, 小学校専門筆記試験も受験していただく必要があります。

(注2) 小学校英語教育推進コースの出願者は, 小学校の普通免許状を有するか, 平成30年4月1日までに取得見込みであることとともに以下のいずれかの条件を満たすことが必要です。

① 中学校英語または高等学校英語の普通免許状を有するか, 平成30年4月1日までに取得見込みであること。

② 実用英語技能検定2級以上の資格を所有していること。

③ TOEFL 500点以上(iBTの場合は42点以上)の資格を所有していること。

④ TOEIC 550点以上(S&Wを含む場合は790点以上)の資格を所有していること。

※上記②～④資格の有効期限は設けていません。過去に一度でも要件を満たせば該当します。

(注3) 一般選考における中学校の数学・理科, 高等学校の数学・理科(地学)については, 当該校種及び教科の普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方も受験が可能です。

合格者については, 8頁「2 受験資格に係る特例について」に基づき, 正式採用を予定しています。

※(注3)の特例を適用する場合は, 10頁の社会人経験者チャレンジ制度, 理数工志願者チャレンジ制度の特例を使用できません。

(注4) 総合支援学校の出願者は特別支援学校の普通免許状とともに, 小学校, 中学校又は高等学校の普通免許状を有するか, 平成30年4月1日までに取得見込みであることが必要です。

なお, 特別支援学校の普通免許状については, 視覚・聴覚・知的・肢体不自由・病弱の5領域のうち, いずれかの領域の免許状を有していること(又は平成30年4月1日までに取得見込みであること)が必要です。また, 盲学校, 聾学校, 養護学校の普通免許状を有している方については, 上記の特別支援学校の普通免許状を有しているものとみなします。

平成 21 年 4 月から教員免許更新制度が導入されています。(教員免許更新制度の詳細については、文部科学省のホームページを参照してください。)

平成 30 年 4 月 1 日に有効な普通免許状を所有されていないときは、採用することができませんのでご注意ください。

(3) 地方公務員法第 16 条及び学校教育法第 9 条の欠格条項に該当しない方

(4) 自力(介助者を要しないことをいう。)で教員としての職務の遂行が可能な方

### 3 選考試験の内容

試験会場 第 1 次試験 京都市立京都御池中学校

第 2 次試験 京都市立西京高等学校・附属中学校(会場の詳細は 14 頁を参照)

※会場は、変更になる可能性があります。

		小学校 (幼稚園・小学校英語教育推進コースを含む)	中学校	高等学校	総合支援学校	養護教諭	栄養教諭
第 1 次試験	7/1(土)	◎一般選考・・・一般・教職教養筆記試験 30 分 (社会人経験者チャレンジ制度及び理工工志願者チャレンジ制度適用者・・・論文試験 30 分) ◎国際貢献活動経験者特別選考・・・論文試験 30 分 ◎フロンティア特別選考・・・論文試験 30 分(専門筆記の受験は必要ありません)					
		◎専門筆記 50 分 (幼稚園併願者は、 別途幼稚園専門筆記 30 分)	◎専門筆記 50 分 (国語 60 分)	◎専門筆記 90 分 (地理歴史・公民 60 分) (国語 100 分)	◎専門筆記 50 分	◎専門筆記 50 分	◎専門筆記 50 分
	—	◎実技試験 〈英語(リスニング)〉			—		
	7/2(日), 7/8(土), 7/9(日)	◎適性検査 ◎個人面接	◎適性検査 ◎個人面接	◎適性検査 ◎個人面接	◎適性検査 ◎個人面接	◎適性検査 ◎個人面接	◎適性検査 ◎個人面接
第 2 次試験	8/19(土) ～ 8/20(日)	◎論文(フロンティア特別選考英語ネイティブコース受験者は、日本語に加え、英語での記述も可能とする。) ◎集団面接 ◎模擬授業(指導案作成を含む。) (高等学校及び総合支援学校は、加えて模擬授業を通して教科の専門性を問う口頭試問を行う。) (幼稚園受験者は模擬授業の代わりにピアノを使用した模擬保育を実施。) (フロンティア特別選考英語ネイティブコース受験者は、指導案作成を日本語に加え、英語での作成も可能とする。)					
	◎実技試験 〈体育実技〉 (幼稚園除く)	◎実技試験 〈音楽・美術・ 保健体育・英語〉	◎実技試験 〈英語〉	—	◎実技試験 〈救急処置等〉	—	

(注 1) 大学・大学院推薦制度、現職教諭特例の適用者の個人面接及び適性検査は、第 1 次試験の日程のうち指定する日に実施します。

(注 2) 前頁の試験のうち、いずれか一つでも受験されない場合は、その時点で受験を辞退したものとみなし、本試験の受験資格を失うものとします。ただし、小学校、中学校保健体育の体育実技試験については、身体等の事情により試験を受けないことを認める場合があります。

(注3) 試験開始時に指定会場内において出席が確認できない場合は、その時点で受験を辞退したものとみなし、本試験の受験資格を失うものとします。ただし、公共交通機関の遅延による遅刻については、遅延証明書等による確認のうえ、受験を認める場合があります。

(1) 第1次試験の留意事項

専門筆記試験について

- ① 併願希望者 志願する全ての区分・教科についての専門筆記試験を受験してください。
- ② 幼稚園併願者 幼稚園専門筆記試験に加え、小学校専門筆記試験も受験する必要があります。
- ③ 高等学校志願者
  - ア 国語・数学・理科・英語の志願者は、高等学校の専門筆記試験に加えて、中学校の該当教科の専門筆記試験（中学校・高等学校の共通問題）を受験する必要があります。試験時間は合わせて国語100分、その他の教科90分です。
  - イ 地理歴史又は公民の志願者は、高等学校の専門筆記（60分）のみ受験してください。ただし、中学校社会と高等学校地理歴史又は公民の併願者は、中学校の専門筆記試験（50分）を合わせて受験してください。

(2) 第2次試験の留意事項

- ① 第2次試験受験対象者について
  - ア 第1次試験の結果により第2次試験の受験資格を得た方
  - イ 平成29年度試験（28年度実施試験）第1次試験合格者（第2次試験受験辞退者及び内定辞退者を除く）
  - ウ 大学・大学院推薦制度、現職教諭の特例の適用により第1次試験免除となった方
- ② 実技試験について
 

下記の受験者については、次のとおり実技試験を実施します。

ア 小学校受験者（幼稚園受験者を除く）

内 容	持 参 物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール</li> <li>・跳び箱運動</li> </ul>	運動のできる服装〔前後に受験番号を記入したゼッケン（縦15cm×横20cm以上）を各自で用意し、縫い付けておくこと〕、運動靴（屋内用）

イ 中学校保健体育受験者（フロンティア特別選考の保健体育コース受験者を除く）

内 容	持 参 物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・走り高跳び</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・マット運動（空中回転技は実施しません。）</li> <li>・武道（柔道）※ （※ 受け身・約束練習等の基礎・基本の技能）</li> </ul>	運動のできる服装及び柔道着〔前後に受験番号を記入したゼッケン（縦15cm×横20cm以上）を各自で用意し、縫い付けておくこと。ただし柔道着は後のみで可能。〕、運動靴（屋内用）

- ウ 中学校音楽・美術・英語、高等学校英語、養護教諭受験者
 

詳細（試験日、試験内容、集合時刻及び持参物等）については第1次試験結果通知書等により直接、受験者に通知します。

(3) 適性検査の留意事項

第1次試験において、職務遂行に必要な適性を確認するための検査を実施します。適性検査の結果は、第2次試験面接時の参考資料として使用します。なお、第1次試験全部免除者（平成29年度試験 第1次合格者を除く）については、第1次試験の日程のうち、指定する日に実施します。

#### (4) (1) ~ (3) 共通留意事項

身体障害者に限らず、受験に際し配慮を必要とする方は、可能な範囲で配慮を行いますので、志願書に具体的な事情を記入のうえ、出願の際に教職員人事課（TEL：075-222-3781，Fax：075-222-3759）までご相談ください。

### 4 試験の結果発表等について

#### (1) 第1次試験の結果発表

ア 平成29年8月中旬までに、受験者全員に結果を通知します。試験結果の通知は、**A**と**B**に区分してあり、**A**は第2次試験の受験資格を得たこと、**B**は受験資格がないことを示します。

また、結果は受験番号により京都市役所公用掲示場に掲示するとともに、ホームページでも発表します。

イ 第1次試験において不合格となった方のうち、希望者には5段階の区分で結果を通知します。

#### (2) 第2次試験の結果発表

ア 平成29年9月下旬に、第2次試験受験者全員に合否結果（合格、補欠、不合格）を通知します。

結果については受験番号により京都市役所公用掲示場に掲示するとともに、ホームページでも発表します。

イ 第2次試験において不合格になった方のうち、希望者には3段階の区分で結果を通知します。

#### (3) 内定時期等について

合格者については、平成29年9月下旬に内定し、平成30年4月1日付けで採用します。

ただし、平成30年4月1日に有効な普通免許状を所有されていないときは、採用することができませんのでご注意ください。

また、補欠者については、欠員状況に応じて採用される場合があります。

#### (4) 採用延長の特例（大学院進学者・及び国際貢献活動派遣者）

第2次試験合格者が、合格した校種・教科又は職の専修免許状取得を目指して、大学院へ進学する場合は、2年間（特に必要がある場合は3年間に限り）採用を猶予し、当該専修免許状の取得を条件として、平成32年4月1日付け又は平成33年4月1日付けで採用します。

また、第2次試験合格者が独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアの活動に従事する場合は、最大2年間採用を猶予し、平成31年4月1日付け又は平成32年4月1日付けで採用します。

### 5 その他

#### (1) 初任給（平成29年4月1日現在、小・中学校教諭の例）

修士課程修了者 : 約263,000円

大学卒業者 : 約241,600円

短期大学卒業者 : 約215,300円

※ 上記の金額は、給料、教職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当を含みます。

このほか、期末・勤勉手当（年間約4.24月分）、通勤手当、扶養手当、住居手当等が所定の条件に応じて支給されます。

※ 採用前に職歴等を有する場合は、その内容・期間に応じて初任給が決定されます。

#### (2) 本市では夏期の軽装勤務を励行しており、受験者においても、ノー上着、ノーネクタイ等の軽装にご協力ください。

## 特別選考について

### 1 特別選考における資格要件及び試験内容等について

国際貢献活動経験者特別選考，フロンティア特別選考（理数工コース，保健体育コース，英語ネイティブコース）及び身体障害者特別選考については，3頁の一般選考の資格要件に，以下の受験資格の追加及び免除等を行います。

合格後の取扱いについては，8頁の「2 受験資格に係る特例について」を参照してください。

ただし，10頁の常勤講師，社会人経験者チャレンジ制度，理数工志願者チャレンジ制度の特例を使用することはできません。

※各選考内容については，4頁または22頁を参照してください。

#### (1) 国際貢献活動経験者特別選考

##### ①資格要件

一般選考の資格要件を満たし，かつ，独立行政法人国際協力機構法（平成14年12月6日法律第136号）の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての派遣実績（廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む）を有する方（1年未満の派遣期間のものを除く）。

##### ②選考試験における留意点

第1次試験	第2次試験
一般・教職教養筆記試験に替えて，論文試験を実施。	集団面接等を実施。

#### (2) フロンティア特別選考

##### ○ 理数工コース

##### ①資格要件

一般選考の資格要件を満たし，かつ，次に掲げるア・イのいずれかに該当する方。

ア 平成29年3月31日時点で，博士号を取得し，受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方。

イ 大学・企業又は研究機関等において，研究・開発・調査等に関する勤務経験から，受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方。

※当該校種及び教科の普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方も受験が可能

##### ②選考試験における留意点

第1次試験	第2次試験
一般・教職教養筆記試験，専門筆記試験に替えて，論文試験を実施。	集団面接等を実施。

##### ○ 保健体育コース

##### ①資格要件

一般選考の資格要件を満たし，かつ，次に掲げるア・イのいずれにも該当する方。

ア 保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する方

イ 高等学校卒業以降に，国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において4位以内の成績を収めた方（ただし，団体競技は正選手として登録された大会等における実績に限る）

※当該校種及び教科の普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方も受験が可能

##### ②選考試験における留意点

第1次試験	第2次試験
一般・教職教養筆記試験，専門筆記試験に替えて，論文試験を実施。	集団面接等を実施。 体育実技は免除。

## ○ 英語ネイティブコース

### ① 資格要件

一般選考の資格要件を満たし、かつ、次に掲げるアからエのいずれにも該当する方。

ア 英語を第一言語とする方

イ 大学卒業（学士号取得）以上

ウ 平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの間で、国公立学校での勤務歴が通算 3 年以上（実勤務月数として 36 月以上。休職期間は含まない）ある方、または外国語としての英語指導法に関する課程（TESOL, CELTA）を修了（または平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みであること）されている方

エ 教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する方

※当該校種及び教科の普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方も受験が可能

### ② 選考試験における留意点

第 1 次試験	第 2 次試験
一般・教職教養筆記試験，専門筆記試験に替えて，論文試験（日本語記述）を実施。 また，実技試験（リスニング）を免除。	論文試験，指導案作成の英語記述可。

## (3) 身体障害者特別選考

### ① 資格要件

一般選考の資格要件を満たし、かつ、身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が 1 級から 6 級までの方。

※当該校種及び教科の普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方も受験が可能

### ② 選考試験における留意点

第 1 次試験	第 2 次試験
障害の程度に応じて、文字・用紙の拡大，試験時間の延長，書面等での指示，受験会場・座席の配慮を可能な範囲で行う。	

## (4) 特別選考の受験の可否について

出願書類を審査した結果、特別選考への出願が相当と認められなかった場合は、一般選考の受験資格を満たしていれば、一般選考により受験していただくことができます。審査結果については、受験票の発送をもって通知します。

## 2 受験資格に係る特例について

7 頁の 1(2)，(3)において、当該校種及び教科の普通免許状を有しない合格者及び取得見込みのない合格者については、京都府教育委員会に推薦し、京都府の教育職員検定に合格して特別免許状が授与された場合は、教諭等として正式採用します。特別免許状が授与されない場合は、合格した校種・教科の臨時免許状の取得を条件として、臨時的任用の常勤講師として任用し、平成 35 年 4 月 1 日までに普通免許状を取得すれば、教諭として正式採用します。

※ 受験資格に係る特例を適用する場合は、10 頁の常勤講師，社会人経験者チャレンジ制度，理数工志願者チャレンジ制度の特例を使用できません。

### 特別免許状について

- 1 制度の趣旨：大学での養成教育を受けていない者に、都道府県教育委員会の行う教育職員検定により免許状を授与する制度
- 2 授与要件：次の①，②のいずれにも該当する者
  - ① 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者
  - ② 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者



## 第1次試験免除等の特例について

以下のいずれかに該当する方は、希望により第1次試験の一部又は全部を免除、あるいは他の試験に替えて実施します。ただし、免除等の特例の併用はできません。

特例により、第1次試験が免除となる場合でも、必ず受付期間内に出願手続きを行ってください。

### 1 第1次試験の全部免除

#### (1) 現職教諭（臨時的任用職員である常勤講師は含みません。）

要件	免除内容等
平成30年3月31日時点で、同一の任命権者の国公立学校に連続して2年以上（休職期間を除く）勤務し、かつ在職している方。	第1次試験を免除し、第2次試験に加え、個人面接・適性検査を実施。 (個人面接・適性検査は第1次試験の日程のうち指定する日に実施)

(注1) 現在勤務する校種（養護教諭、栄養教諭にあっては職種）及び担当教科と同一の受験区分を専願する場合に限ります。併願はできません。なお、総合支援学校については、特別支援学校の他、小中学校の特別支援学級での勤務（学級担任に限る）も含みます。

(注2) 本特例を、平成29年度京都市立学校教員採用選考試験に適用し、出願された方は、本年度の試験に同じ特例を適用することはできません。

#### (2) 平成29年度試験（28年度実施試験）第1次試験合格者

要件	免除内容等
平成29年度京都市立学校教員採用選考試験の第1次試験合格者（第2次試験受験辞退者及び内定辞退者を除く）で、平成29年度教員採用選考試験の合格区分と同一の受験区分のみを受験する方。	第1次試験を免除。

(注) 他の校種、職種、教科との併願はできません。

#### (3) 大学・大学院推薦制度合格者

要件	免除内容等
学業成績優秀であるとともに、部活動やボランティア活動等の実績が顕著であるなど、大学・大学院における諸活動の実績を評価され、教師として優れた実践力を発揮することが期待できると学長等（学部長以上の職）からの推薦を受けた方（平成30年3月卒業予定者等）のうち、書類選考で、合格した方。	第1次試験を免除し、第2次試験に加え、個人面接・適性検査を実施。 (個人面接・適性検査は第1次試験の日程のうち指定する日に実施)

(注1) 本特例を、平成29年度京都市立学校教員採用選考試験に適用し、出願された方は、本年度の試験に同じ特例を適用することはできません。

(注2) 他の校種、職種、教科との併願はできません。

## 2 第1次試験の一部免除等

### (1) 常勤講師（臨時的任用職員）

要件	免除内容等
平成24年4月1日から平成29年3月31日までの期間で、国公立学校での勤務歴が通算2年以上（実勤務月数として通算24月以上。休職期間を除く）、又は、平成27年4月1日から平成29年3月31日までの期間で本市立学校での勤務歴が通算1年以上（実勤務月数として通算12月以上。休職期間は含まない。）ある方。	出願区分に関わらず、一般・教職教養筆記試験を免除。

### (2) 社会人経験者チャレンジ制度

要件	免除内容等
平成24年4月1日から平成29年3月31日までの期間で、同一の法人格を有する民間企業又は官公庁等で正社員又は正規職員として、連続して3年以上（休職期間を除く）の勤務歴がある方（出願時の在職は問いません）。	出願区分に関わらず、一般・教職教養筆記試験に替えて、論文試験を実施。

### (3) 理数工志願者チャレンジ制度

要件	免除内容等
中学校の数学・理科及び高等学校の数学・理科の志願者（いずれも第1志望の場合に限る）で、志願する教科の普通免許状を有するか、平成30年4月1日までに取得見込みである方。	一般・教職教養筆記試験に替えて、論文試験を実施。

(注) ただし、普通免許状を有しない方及び取得見込みのない方については、この特例を適用することはできません。

### (4) 英語資格所有者

(※資格の有効期限は設けていません。過去に一度でも要件を満たせば該当します。)

要件	免除内容等
中学校・高等学校の英語志願者で、実用英語技能検定準1級、TOEFL550点以上(iBTの場合は80点以上)、TOEIC730点以上(S&Wを含む場合は1095点以上)のいずれかの資格を有する方。	英語の第1次試験の実技試験を免除。

## 出願手続きについて

出願前に、17頁に記載の「提出書類チェック欄」で必ず確認をしてください

### 1 提出書類

＜全志願者が提出するもの＞

※消せるボールペンの使用は認めません。

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| ア | 所定の志願書 A・B   | 1 通 |
| イ | 郵便はがき (62 円分) 【受験票として使用するので、裏面が白紙のもの。写真用不可】<br>(表面に志願者の郵便番号・住所 (受験票を受け取る住所), 氏名を明記すること。) | 1 通 |
| ウ | 返信用封筒 (角形 2 号 24cm×33.2cm) 【結果通知に使用】<br>(表面に 140 円切手を貼付のうえ, 志願者の郵便番号・住所・氏名を明記すること。)      | 1 通 |

＜以下は、該当者のみ提出するもの＞

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| エ | 派遣証明書<br>〔 <u>国際貢献活動経験者特別選考</u> での受験を希望する方<br>独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局による定形書式〕   | 1 通 |
| オ | 学位授与等証明書<br>〔 <u>フロンティア特別選考 (理数エコース)</u> 志願者で, <u>博士号を取得している方</u><br><u>フロンティア特別選考 (英語ネイティブコース)</u> 志願者で, <u>英語指導法に関する課程を修了済みの方</u> 〕            | 1 通 |
| カ | 競技実績を証明する書類等<br>〔 <u>フロンティア特別選考 (保健体育コース)</u> での受験を希望する方<br>競技実績を証明する書類 (表彰状, 新聞記事の写し等 (団体競技の場合はメンバー表を含む) を A4 用紙に拡大・縮小して提出すること。)                | 1 通 |
| キ | 身体障害者手帳の写し<br>〔 <u>身体障害者特別選考</u> での受験を希望する方<br>氏名, 生年月日, 障害の種別及び等級が確認できる身体障害者手帳の頁の写し〕  | 1 通 |
| ク | 平成 29 年度京都市立学校教員採用選考試験 第 1 次試験合格通知書の写し<br>〔 <u>平成 29 年度試験 (28 年度実施試験) 第 1 次合格者の特例を希望する方</u><br>(第 2 次試験受験辞退者, 内定辞退者及び内定が取り消しとなった方は当特例の適用はできません。) | 1 通 |
| ケ | 英語資格について各実施団体が発行する証明書の写し<br>〔 <u>小学校英語教育推進コース志願者 (中学校英語または高等学校英語の普通免許状を有する方を除く)</u> 及び <u>英語資格所有者の特例を希望する方</u> 〕                                 | 1 通 |

### 2 出願方法

(1) 出願期間 平成 29 年 4 月 18 日 (火) ～平成 29 年 5 月 18 日 (木) 消印有効

(2) 出願方法 郵送のみ (「簡易書留」とし, 必ず角形 2 号の封筒を使用。)

※持参による出願は受付けません。「志願書」の折り曲げは厳禁とします。

※封筒の表には「志願書在中, 中学校・英語」のように出願区分 (教科) を朱書きしてください。

※「特別選考名」についても朱書きしてください。

※提出された書類は, 一切返却しません。また, 切手は不足なく貼付してください。

＜郵送先＞〒604-8571 (住所記入不要) 京都市教育委員会事務局 教職員人事課

(3) 受験票の交付

試験日程, 試験会場, 集合時刻及び持参物等を記載した受験票を郵送します。平成 29 年 6 月 27 日 (火) までに到着しない場合は, 教職員人事課 (TEL: 075-222-3781) に連絡してください。

**志願書記入上の注意 (15, 16 頁の記入例とともに確認しながら記入してください)**

志願書等には、必要な事項を正確に記入してください。学歴や職歴等の年月日を記載するときは、必ず和暦で記入してください。また、志願書は固有名詞を除き、日本語で記入してください。

万一、虚偽の記載があったと認められる場合は、この試験で得た資格を全て無効とすることがあります。なお、記載事項について必要がある場合には、後日、事実確認を行うことがあります。

ダウンロードした志願書は必ず **A4, 白色用紙に両面** で印刷・記入し出願してください。

**1 志願書 A 【黒インク又は黒ボールペンで、楷書で丁寧に記入してください。消せるボールペンの使用は認めません。】**

- (1) 写真の裏に氏名・出願区分を記入し、しっかりと貼り付けてください。
- (2) 「選考区分」は、出願する選考区分に  をしてください。また、一般選考の小学校英語教育推進コース及び特別選考に出願するときは、「区分備考欄」に以下のことを記入してください。

選考区分		区分備考欄の記入事項
一般選考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校英語教育推進コースに出願する場合は、以下のいずれかを記入               <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学校英語免許状または高等学校英語免許状</li> <li>②実用英語技能検定, TOEFL, TOEIC のいずれかの名称とその級・スコア</li> </ul> </li> <li>・中学校の音楽・美術・保健体育での出願者のうち、高等学校の音楽・美術・保健体育の普通免許状を有する方、又は平成 30 年 4 月 1 日までに取得見込みの方で、高等学校での勤務も希望する方は、「高等学校希望」と記入をしてください。</li> </ul>
国際貢献活動特別選考		・派遣国名, 派遣期間 (和暦で年月まで記入)
フロンティア特別選考	理数工コース	・博士号の専攻名 (工学など) 又は勤務した主な大学・企業・研究機関名, 勤務期間 (和暦で年月まで記入) ※1
	保健体育コース	・競技種目名 ※2
	英語ネイティブコース	・勤務した主な英語教育関係の所属名と職名, 勤務期間 (和暦で年月まで記入) 又は英語指導法に関する課程 (TESOL, CELTA) の名称
身体障害者特別選考		・障害の種別及び等級

※1 理数工コース で志願する場合は、志願書 B の「自己アピール」欄に、研究内容・勤務内容等、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有することが明らかになるよう記入してください。

※2 保健体育志願者コース で志願する場合は、選手として国際的規模の競技会に日本代表として出場又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において 4 位以内の成績を収めた競技名を記入してください。また、主な出場大会及び競技実績について、志願書 B の「部活動歴・自己研鑽歴」に記入してください。

- (3) 小学校英語教育推進コースの出願者は、出願区分の「校種」欄に小学校と記入し、「教科等」欄に、「英語教育推進」と記入してください。
- (4) 幼稚園の出願者は、出願区分の最上欄に小学校と記入し、併願 1 に幼稚園と記入してください。
- (5) 大学・大学院推薦制度によって受験する場合は、推薦欄に  をしてください。
- (6) 京都市では、小中一貫教育の一層の推進に向け、小中学校校種間の人事異動を進めています。小学校及び中学校の出願者のうち、両方の校種の教員免許状を有する方又は平成 30 年 4 月 1 日までに取得見込みの方 (中学校においては募集する教科のみ) で、他方の校種での勤務・異動を積極的に希望する方は志願書の「**小中学校校種間異動希望欄**」に  をしてください。
- (7) 「出願区分」の最上欄は必ず記入してください。なお、併願を希望する場合は、希望する順に「併願 1」以下の欄に記入してください。

- (8) 中学校及び高等学校志願者は、「出願区分」の「教科等」欄に、教科名を記入してください。  
高等学校・理科の志願者は「教科等」欄に、教科を記入したうえで、専門・得意とする科目（地学等）を続けて記入してください。（記入例 理科・地学）
- (9) 日本国籍を有しない方は、写真貼付箇所の下チェック欄に☑をしてください。
- (10) 第1次試験一部免除等の特例を希望する場合は、必ず該当する項目のチェック欄に☑をしてください。ただし、特例の併用はできません。

**※特例の要件に該当する方であっても、志願書にチェックがされていない場合は、特例の適用を希望しないものとして取り扱いますのでご注意ください。**

ア. 現職教諭は、[ ] 内に現在勤務する校種・担当教科を記入してください。

イ. 英語資格所有者は、( ) 内に実用英語技能検定, TOEFL, TOEIC のいずれかを明記し、級・スコアを記入してください。

※記入がない場合や、資格を証明する各実施団体から発行される証明書の写しがない場合は、この特例を適用できません。

- (11) 講師募集等の案内メールを希望する場合は、Email アドレスを記入し、☑をしてください。
- (12) 「最終学歴」欄に記入する学校名は、最も上位の学歴を取得した学校名を記入してください。  
(例) ・A 短期大学卒業後、B 大学へ進学し卒業（見込）の場合⇒B 大学の学校名を記入  
・A 大学卒業後、B 大学院へ進学し修了（見込）の場合 ⇒B 大学院の学校名を記入
- (13) 大学等卒業後に通信教育・聴講・科目等履修などの期間がある場合は、「最終学歴」欄右の「通信・聴講等」欄に記入してください。
- (14) 採用内定後に、6 頁 4 (4) の採用延長の特例を希望する者は採用延長希望欄に☑をしてください。また、( ) 内に採用延長を希望する期間、大学院進学・国際貢献活動派遣の別を記入してください。
- (15) 「免許・資格」欄に教員免許状及び司書教諭資格以外の免許・資格等を記入してください。  
特に英語に関する資格（実用英語技能検定や TOEFL, TOEIC 等）・養護教諭志願者で看護師及び保健師の資格を有している場合、幼稚園志願者で保育士の資格を有している場合、フロンティア特別選考（理数工コース）の志願者で受験教科の分野における高度な資格（技術士・一級建築士等）を有している場合は必ず記入してください。また、京都検定や数学検定、手話に関する資格などを有している場合についても記入してください。
- (16) 高等学校志願者で「情報」免許を有する方又は取得見込みの方は免許状欄に記入してください。
- (17) 「免許状」欄に所有又は取得見込みの教員免許状の種別、教科、取得（見込）年月日を記入してください。また、免許状を有しない場合の受験資格に係る特例を使用するときはチェック欄に☑をしてください。

教員免許状を取得見込みの方は「免許状」欄の( ) 内に、下記の教員免許状取得コードのうち、該当する番号を記入してください。

**教員免許状取得コード**

(免許状取得見込みの方がどの方法で教員免許状を取得しようとしているのかを表します。)

取得コード	最終学校で取得	1
	最終学校以外の通学制の学校で取得	2
	通信教育で取得	3
	認定試験、検定で取得	4
	その他の方法で取得 (※)	5

(※) 保健師国家試験の合格により得られる資格を基礎として、養護教諭普通免許状を取得する場合等

- (18) 第1次試験または第2次試験の結果、不合格となった際に、不合格の段階（第1次試験で5段階、第2次試験で3段階）通知を希望される場合は「不合格の際の段階通知」欄に☑をしてください。（希望しない場合でも、合格・不合格の通知を送付しますので切手を貼付し、宛名を記入した返信用封筒を必ず提出してください。）
- (19) 最下段の「氏名（自署）欄」に、内容を確認したうえで自署してください。

**2 志願書B** 【黒インク又は黒ボールペンで、楷書で丁寧に記入してください。消せるボールペンの使用は認めません。】

- (1) 「職歴」の欄には、出願時現在を含め、新しいものから順に書ける分のみ正確に記入してください（職歴欄に書ききれない古い職歴は不要です）。ただし、受験資格や第1次試験一部免除等に関わる職歴は必ず記入してください。（記入欄の分割，別紙に追加記入可）

教員歴については、本市以外のもも記入し、学校名、校種の別、教諭・講師（常勤・非常勤）の別まで記入してください。総合支援学校の場合は、小学部、中学部、高等部の別も記入してください。なお、任用期間が連続している場合は、まとめて記入してください。京都府下で週あたり27時間勤務（20年度以前は28時間勤務）の非常勤講師をされている方については、当該年度はまとめて記入していただいて構いません。

- (2) 「部活動など」における校種欄の「その他」は、スポーツ少年団やボーイスカウト、ガールスカウト、地域の子ども会、少年補導委員会、体育振興会等での活動など、学校以外のスポーツ団体・文化団体などでの活動歴があれば記入してください。

- (3) 「部活動歴・自己研鑽歴」の欄には、部活動・同好会での活動歴や、主な実績（大会への参加・入選・入賞等の記録）について要点のみを記入してください。

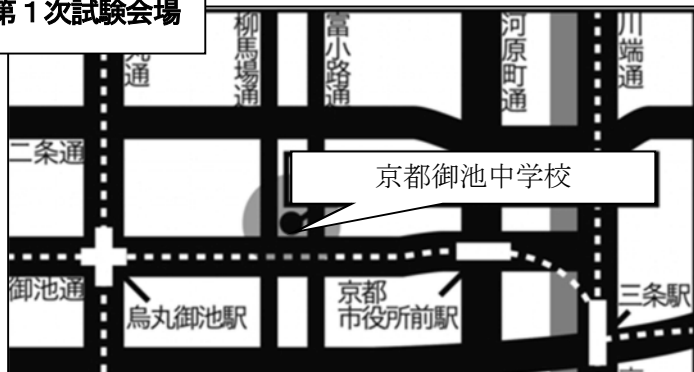
また、京都市教育委員会が実施する京都教師塾をはじめ、教員としての資質向上のために取り組んでいる自己研鑽等の内容を記入してください。（京都教師塾の塾生は、在籍期（例：第11期生）を記入してください。）

- (4) 「ボランティア活動等」の欄には所属した団体や活動時期・内容等を具体的に記入してください。なお、「学生ボランティア」学校サポート事業など、京都市教育委員会が実施している事業での活動経験がある場合は必ず記入してください。（教員免許取得のための介護等体験実習は除きます。）

**試験会場第1次試験 京都市立京都御池中学校**

**第2次試験 京都市立西京高等学校・附属中学校**

**第1次試験会場**



京都市立京都御池中学校（京都市中京区柳馬場通御池上る虎石町45-3）

- 京都市営地下鉄東西線「京都市役所前」駅から徒歩6分
- 京都市営地下鉄東西線「烏丸御池」駅から徒歩6分
- 市バス・京都バス「堺町御池」駅から徒歩2分

**第2次試験会場**



西京高等学校・附属中学校（京都市中京区西ノ京東中合町1）

- 京都市営地下鉄東西線「西大路御池」駅からすぐ
- 京都市バス「西大路御池」下車すぐ

※試験会場及び周辺路地・店舗駐車場等への自動車・バイク・自転車の駐車・駐輪は禁止します。

また、試験会場の敷地内は全て禁煙とし、携帯電話の使用も一切禁止します。

※試験日程や会場については受験者数等により、一部変更する可能性があります。

志願書受付期間終了後に、6月27日（火）までに郵送する受験票には試験日程，試験会場，集合時刻及び持参物等の記載がありますので，必ず確認してください。

【問合せ先】 京都市教育委員会事務局教職員人事課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075-222-3781 FAX 075-222-3759

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/> , e-mail アドレス [jintai@edu.city.kyoto.jp](mailto:jintai@edu.city.kyoto.jp)

平成30年度 京都市立学校教員採用選考試験  
志願書 A (記入例) 京都市教育委員会

受験番号 ※ 記入しないでください

選考区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般選考	<input type="checkbox"/> 身体障害者特別選考	推薦	<input type="checkbox"/> 大学・大学院推薦		(写真貼付箇所) 写真は、上半身、脱帽、無背景、正面向の最近3ヶ月以内に撮影したものを貼付してください。 (たて5.5cm×よこ5.0cm) 写真の裏に氏名・出願区分を記入してください。
	<input type="checkbox"/> 国際貢献活動経験者特別選考	区分備考欄 TOEIC730	出願区分			
<input type="checkbox"/> フロンティア特別選考	校種		教科等			
氏名	<input type="checkbox"/> 理数工コース	ふりがな きょういく たろう	小学校		英語教育推進	
	<input type="checkbox"/> 保健体育コース		中学校		英語	
生年月日	昭和・平成 3年 4月 8日	年齢	併願1併願2			
性別	男・女	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校校種間異動希望欄				
現住所	ふりがな きょうとし なかぎょうく てらまちどおりおいけあがる かみほんのうじまえちょう (〒604-8571) 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488				※日本国籍を有しない方はチェックしてください→ <input type="checkbox"/>	
	Tel (075) 222-0000 (自・呼) <携帯> Tel (090) 0000 ××				第1次試験一部免除等	
連絡先の住所	ふりがな (帰省先など、現住所以外に連絡を希望する場合は、記入(〒 - ))				<input type="checkbox"/> (1) 現職教諭	
	Tel ( ) - (自・呼)				<input type="checkbox"/> (2) 29年度試験第1次試験合格者	
最終学歴	大学 教育学部		信・聴講等	大学	<input type="checkbox"/> (3) 常勤講師(京都市・その他)	
	平成 28年3月31日	卒業・見込 修了 見込	専攻 △△コース	平成 30年3月31日	卒業・見込 修了 見込	
学歴 (高等学校卒業時から最終学歴まで記入)		免許状		※免許状を有しない場合の受験資格に係る特例を使用するときはチェックしてください→ <input type="checkbox"/>		
年・月・日から	学校名	入学卒業(修了)	種別	教科	取得(見込)年月日	
平成 22・3・31	京都市立 ○○ 高等学校	卒業	中学校一種	英語	平成 26年3月20日 取得 取得見込 ( )	
平成 22・4・1	○○ 大学	入学	中学校専修	英語	平成 28年3月20日 取得 取得見込 ( )	
平成 26・3・31	○○ 大学院	卒業	小学校一種		平成 30年3月20日 取得 取得見込 (3)	
平成 26・4・1		入学			取得 取得見込 ( )	
平成 28・3・31		修了			取得 取得見込 ( )	
採用延長希望	身体等の事情( )		司書教諭資格の有無	(有)・無	平成 26年3月20日 取得 取得見込 ( )	
希望する内容			上欄以外の主な免許・資格(段・級位等) ※特に英語や保育士(幼稚園)、看護師・保健師(養護教諭) 手話通訳士等の資格は必ず記入			
			保育士、手話通訳士			
			得意教科 英語、図工			
			指導できる部活動名 バスケットボール、バドミントン			
			不合格の際の段階通知 <input checked="" type="checkbox"/> 希望する			
私は、京都市立学校教員採用選考試験に上記により志願します。なお、私は試験実施要項に掲げてある受験資格を全て満たしており、提出書類の記載事項に相違ありません。 平成 29年○月○日 出願日を記入 氏名(自署) 教育 太郎						

9~10頁に記載の免除等の特例を適用して出願する場合は、必ずチェックをしてください。

本市での勤務歴1年に該当する場合に○をしてください。他の国公立学校での勤務歴2年に該当する場合はその他に○してください。

学歴は、高等学校卒業時から記入。

志願書B (記入例)

京都市教育委員会

受験番号 ※ 記入しないでください

氏名

教育 太郎

自己アピール

忘れずに記入すること

※必ず記述すること

※楷書で丁寧に記述すること

※この欄内に収まるように記述すること

該当する校種との併願者も記入すること

職 歴 (出願時現在を含め、新しいものから順にできるだけ詳細に)			水泳		25m以上 ☑泳げる ☐泳げない	
年・月・日から 年・月・日まで	勤 務 先	職 名	校 種	活動年数	部活動・同好会名	主な役職・係等の名称
平成 29.4.1 昭和	京都市立〇〇小学校 (出願時現在のもの)	常勤講師	中学校	3年	バスケットボール部 同好会	副キャプテン
平成 29.9.30			高等学校	3年	バドミントン部 同好会	
平成 28.4.1	京都市立〇〇小学校	常勤講師	大 学	4年	ギター部 同好会	会計係
平成 29.3.30			その他	3年	手話部 同好会	
・			その他	年	部 同好会	
※民間企業等での職歴がある場合は、職名欄に正規または臨時等がわかるよう記載すること。 ※短期間のアルバイト等は記入不要。			部活動歴 (大会への参加・発表・成績等) ・自己研鑽歴 (京都教師塾等)			
賞 罰 等			・中学校 … 近畿バスケットボール大会ベスト4 京都府バスケットボール大会 優勝 ・高等学校… 全国高等学校大会 ベスト8 ・京都教師塾… 第11期生 <b>京都教師塾生の場合は、在籍期を記入</b>			
※表彰や刑事罰だけでなく、法令に基づく懲戒処分を含む			ボランティア活動等 (教員免許状取得のための介護等体験実習を除く) ・学生ボランティア (〇〇小学校 平成24年度、月に6回程度) ・〇〇施設での小学生を対象とした学習支援ボランティア (平成27年4月～28年3月、月に2回程度) ・手話ボランティア (平成21年4月～25年3月、月に1回程度)			
本試験以外に受験を予定している職種・都道府県市名			特 技		卒業論文研究題名	
小学校 〇〇県, 〇〇市			水泳, 料理		学校教育現場における 〇〇の検証について	

「その他」には、学校以外のスポーツ団体、文化団体等での活動歴を記入

同好会含む



## 提出書類等チェック欄

出願する前に、次の事項について必ず確認し、□にチェックをして提出書類に不備のないようにしてください。万が一、11 頁に記載の提出書類に多くの不備があった場合には、受験を認めない場合がありますので、必要事項を漏れなく記入したうえで、該当する書類を忘れずに提出してください。また、第 1 次試験が免除となる場合でも、必ず受付期間内に出願手続を行ってください。

### 1. 受験資格

- 出願する校種及び教科等又は職に相当する普通免許状を有する、又は平成 30 年 4 月 1 日までに取得見込みである。(特に通信教育で取得見込みの方については、ご自身で必ず単位の確認をしてください。)  
または、免許状を有しない(または取得見込みでない)場合にも出願できる選考区分・教科であることを確認してください。
- 出願区分に応じた生年月日に該当している。

### 2. 志願書 (記入漏れはありませんか。もう一度志願書全てに目を通してください。)

- 志願書をダウンロードした場合は、A4, 白色用紙に両面で印刷・記入した。
- 出願する選考区分にチェックした。(備考欄に必要事項を記入する選考区分等があるので 12 頁を確認)
- 出願する校種・教科等・併願について実施要項で確認して記入した。(中高の異なる教科の併願はできません)
- 写真の裏に氏名・出願区分を記入し、志願書にしっかりと、はがれないように貼付した。
- 生年月日を記入し、平成 30 年 4 月 1 日現在の満年齢を記入した。
- 現住所を記入し、連絡先の携帯電話番号・自宅電話番号を記入した。
- 第 1 次試験一部免除等を希望する場合、実施要項で確認のうえ、該当箇所にチェックした。
- 学歴・所有する資格等について漏れなく記入した。
- 所有する、又は取得見込みの免許状について漏れなく記入した。
- 志願書 A にある 署名欄に、記入日と氏名を自筆で署名した。
- 小学校、幼稚園、中学校保健体育、総合支援学校志願者は、水泳の該当項目をチェックした。
- 現職教諭の特例を希望する人は、現在勤務する校種・担当教科を記入した。

### 3. 郵便はがき

- 裏面が白紙のものを用意し、62 円分の切手を貼り、郵便番号・住所(受験票を受け取る住所)、氏名を記入した。

### 4. 返信用封筒

- 角形 2 号 (24cm×33.2cm) の封筒に、140 円切手を貼付し郵便番号、住所、氏名を記入した。

### 5. その他

- 必要書類を提出する際、封筒の表に「志願書在中」、「校種」、「教科」、「特別選考名」等を朱書きで記入した。(11 頁掲載の出願方法を参照のこと。)
- 提出する時の封筒に、切手を不足なく貼付した。(封筒は必ず角形 2 号を使用すること)
- 小学校英語教育推進コースや第 1 次試験一部免除等の特例、特別選考で出願する場合は、それぞれに対応する必要書類を同封した。  
(11 頁掲載の提出書類を参照のこと。)
- 実施要項の全てに目を通した。

(参考)

## 1 過去5年間の採用選考試験実施結果

	受験者数					採用者数				
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
小学校	844	750	726	686	695	177	118	164	158	159
中学校	771	719	696	671	695	115	78	68	77	59
高等学校	240	211	227	184	168	13	12	20	15	12
総合支援学校	148	181	156	151	174	50	36	42	46	38
養護教諭	70	78	75	79	82	11	7	8	8	8
栄養教諭	40	36	33	23	56	3	4	2	5	9
計	2113	1975	1913	1794	1870	369	255	304	309	285

※「小学校」には「幼稚園」を含む

## 2 平成30年度採用選考試験の配点

	第1次試験				第2次試験				
	個人面接	一般・教職教養	専門筆記	実技試験	論文	集団面接	模擬授業	実技試験	
一般選考 身体障害者特別選考を含む	70 (小学校英語教育 推進コース85)	30	100	30	20	35	60	30 (小学校10)	
特別選考	国際貢献活動 経験者	70	30 (論文)	100	30	20	35	60	30
	フロンティア 理数工 コース	70	30 (論文)	—	—	20	35	60	—
	保健体育 コース	70	30 (論文)	—	—	20	35	60	—
	英語 ネイティブ コース	70	30 (論文)	—	—	20	35	60	30

※第1次試験免除者のうち、個人面接実施者は、第2次試験の合計点に個人面接点を加えた後、換算を行います。

※適性検査の結果は、第2次試験面接時の参考資料として使用します。

### 3 よくある質問について (Q & A)

よくあるお問い合わせや、間違いやすい点をまとめて掲載していますので、出願する前に必ず目を通しておいてください。

**【Q1】 ホームページからダウンロードして印刷した志願書に記入して出願することはできますか。**

【A1】 出願可能です。印刷される際は、A4・白色に両面で印刷・記入してください。

**【Q2】 複数の免許を持っているので併願を考えているのですが、どの校種が併願できますか。**

【A2】 併願は、下表の組み合わせのみ可能です。(◎印は2つまで併願が可能です。)

		併願可能校種				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	総合支援学校
第一 志望 校種	小学校	○	/	×	×	×
		×	/	◎	×	◎
	中学校	×	◎	/	×	◎
		×	×	/	○	×
高等学校	×	×	○	/	×	
総合支援学校	×	◎	◎	×	/	

(注1) 上記の小学校には、小学校英語教育推進コースを含みます。

(注2) 前頁のうち、中学校及び高等学校については同一教科のみ併願が可能です。

なお、中学校社会と高等学校地理歴史又は公民は併願可能です。

[例: 「中学校理科と高等学校国語」や「中学校英語や高等学校国語」などの併願はできません。]

**【Q3】 小学校教諭を目指していますが、英語の資格を所有しているのに、小学校英語教育推進コースで出願したいと考えています。通常の小学校区分で受験する場合との違いは何ですか。**

【A3】 小学校英語教育推進コースについては、第1次試験の個人面接において、「英語」に関する事項をテーマとするなど、通常の小学校区分と比較し、英語活用力をより重視した試験内容としています。また、第1次試験の個人面接については、通常の小学校区分と異なる配点(最大15点加点)としています。

**【Q4】 総合支援学校について、所持免許が小学校、中学校や高等学校のみでも受験できますか。**

【A4】 受験できません。総合支援学校を希望する場合は「特別支援学校の普通免許状」が必要であり、さらに小学校、中学校又は高等学校の普通免許状が必要です。(いずれの免許も平成30年4月1日までに取得見込みであれば受験可能です)  
※3~4頁の受験資格を参照してください。

**【Q5】 第1次試験一部免除等の特例について、2つ以上併用することはできますか。また、要件に該当していても使用しないことは可能ですか。**

【A5】 試験免除に関する特例の併用はできません。複数ある場合も、1つのみ選択してください。また、要件に該当していても使用しないことは可能です。その場合は、志願書の第1次試験一部免除等の特例欄にチェックをせずに出願してください。(反対に、特例の使用を希望している場合でも、志願書にチェックが無い場合には特例の適用ができませんのでご注意ください。)

**【Q6】 現職教諭の特例について、私立や海外の学校で勤務していた場合でも対象となるのでしょうか。**

【A6】 学校教育法第1条に掲げる学校での勤務経験が特例の対象となりますので、私立学校勤務の場合でも対象となります。また、海外の学校の場合は対象となりません。ただし、日本人学校については、日本国内の学校からの派遣により勤務されている場合は対象とします。

**【Q7】 現職教諭の特例について、経歴はあるが現在は退職している場合でも対象となりますか。**

【A7】 対象となりません。現職教諭の特例は、平成30年3月31日まで在職している方が対象です。なお、常勤講師の特例は、要件を満たせば出願時に在職していなくても対象となります。

**【Q8】 現職教諭の特例について、総合支援学校を受験する場合は現在、総合支援学校（学校教育法上の特別支援学校に該当する学校）に勤務している必要がありますか。**

【A8】 総合支援学校の区分で現職教諭の特例を適用するためには、平成30年3月31日まで総合支援学校（学校教育法上の特別支援学校に該当する学校）または小中学校の特別支援学級で勤務（学級担任に限る）していることが必要です。また、免許については、Q5を参照してください。

**【Q9】 現職教諭の特例について、現在、総合支援学校の小学部に勤務していますが、小学校を受験する場合でも特例の対象となりますか。**

【A9】 対象となりません。この場合、総合支援学校を受験するときのみ特例の対象となります。

**【Q10】 フロンティア特別選考の理数エコースについて、どのような方が志願していますか。**

【A10】 理学・工学等の博士号取得者、再生医療技術の基礎研究従事者、半導体製造技術者、都市開発・住宅建築技術者（1級建築士や技術士等の有資格者を含む）など、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方が志願しています。御自身の知識や技能を伝え、教え、育むことをさらに超えて、知識や技能を社会での問題解決、課題設定に結び付けて、生徒を育成する資質・能力を有する方を求めています。

**【Q11】 フロンティア特別選考の理数エコースについて、実績についての証明書等を提出する必要がありますか。**

【A11】 博士号を取得している方は、学位授与証明書を提出してください。大学・企業又は研究機関における勤務経験から特別選考を志願する方は、出願時の証明書等の提出は不要で、第2次試験合格後に勤務先の在職証明書等の提出を指示します。また、出願後、研究・勤務内容について個別に問い合わせる場合があります。

**【Q12】 フロンティア特別選考の保健体育コースについて、どのような方が合格していますか。**

【A12】 オリンピックメダリスト、元プロ野球選手などの実績を有する方が合格しています。

**【Q13】 常勤講師の特例について、勤務歴のある校種（教科）と受験を希望する校種（教科）が異なっても対象となりますか。**

【A13】 対象となります。常勤講師としての勤務歴については、どの校種（教科）であっても対象となります。また複数の校種（教科）の勤務歴であっても対象となります。

**【Q14】 社会人経験者チャレンジ制度について、出願時に在職していなくても対象となりますか。**

【A14】 出願時には在職していなくても、正社員又は正規職員として、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの間で、連続して3年以上（休職期間を除く）同一の民間企業又は官公庁等での勤務歴があれば対象となります。

**【Q15】 社会人経験者チャレンジ制度について、会社の在職証明書等を提出する必要がありますか。**

【A15】 出願時の証明書等の提出は不要です。ただし、第2次試験合格後に勤務先の在職証明書等の提出を指示します。

**【Q16】 現在教員免許を持っていないため、「受験資格に係る特例」（免許がなくても受験可能）での受験を検討しています。このとき、3年以上の社会人経験がある場合には、「社会人経験者チャレンジ制度」により第1次試験一部免除の特例の対象となりますか。**

【A16】 「社会人経験者チャレンジ制度」の対象とはなりません。  
「受験資格に係る特例」を使用して受験する場合には「社会人経験者チャレンジ制度」の特例を使用することはできません。

**【Q17】 都合により筆記試験を受験できなくなりました。面接から受験することはできますか。**

【A17】 できません。必要な試験のうち、いずれか一つでも受験されなかった場合は、その時点で受験を辞退したものとみなし、受験資格を失うものとします。ただし、小学校、中学校の保健体育の体育実技試験については、身体等の特別な事情により試験を受けないことを認める場合があります。

**【Q18】**他の自治体等が実施する試験も受験しますが、志願書Bの「本市以外に受験を予定している職種・都道府県市名」にそのことを記入すれば、試験日程について事前の配慮又は指定後の変更に応じていただくことはできますか。

**【A18】**原則として、試験日程については、個別のご要望に応じて調整致しません。

**【Q19】**過去の問題を見たいのですが、公開していますか。また郵送で取り寄せることは可能ですか。

**【A19】**京都市情報公開コーナー（京都市役所北庁舎8階。平日9:00～17:00に開館。）において過去3年分の問題等を閲覧、コピー（有料）することができます。郵送での提供は行っておりませんのでご了承ください。

上記及び要項に記載している事項以外について不明な点があれば  
教職員人事課（Tel:075-222-3781）へお問い合わせください。

平成30年度京都市立学校教員採用選考試験 試験区分一覧

<一般選考>

校種等	第1次試験					第2次試験									
	個人面接	適性検査	一般教職教養	専門筆記	実技試験	論文	集団面接	模擬授業	実技試験						
小学校 (小学校英語教育推進コース含む)	○	○	○	○	/	○	○	○	○(体育)						
幼稚園併願				○(小・幼)	/				/						
中学校				○	○				○	○	○	○	○	○(一部教科) ※	
高等学校										(英語)					
総合支援学校										○				/	/
養護教諭										/				/	○
栄養教諭										/				/	/

※第2次試験の実技試験は、中学校の音楽・美術・保健体育，中学校・高等学校の英語で実施。

<特別選考>

区分	第1次試験					第2次試験							
	個人面接	適性検査	一般教職教養	専門筆記	実技試験	論文	集団面接	模擬授業	実技試験				
国際貢献活動経験者	○	○	論文試験	○	一般と同様	○	○	○	一般と同様				
フロンティア 理工工コース			論文試験		/				免除	○	○	/	
保健体育コース			論文試験		/							免除	○
英語ネイティブコース			論文試験		免除				○(英語可)	○	○	○(指導案は英語作成可)	一般と同様
身体障害者			○	○	○				○	一般と同様	○	○	一般と同様

<第1次試験免除等の特例>

区分	第1次試験					第2次試験			
	個人面接	適性検査	一般教職教養	専門筆記	実技試験	論文	集団面接	模擬授業	実技試験
現職教諭	※1	※2	免除			○	○	○	一般と同様
29年度1次合格者	免除								一般と同様
大学等推薦	※1	※2	免除						一般と同様
常勤講師	○	○	免除	○	一般と同様				一般と同様
社会人経験者 チャレンジ制度			論文試験		一般と同様				一般と同様
理工工志願者 チャレンジ制度			論文試験		/				/
英語資格所有者			○		免除				○(英語)

※1…現職教諭・大学等推薦の個人面接は，第1次試験の日程のうち指定する日に実施。

※2…現職教諭，大学等推薦の適性検査は，第1次試験の日程のうち指定する日に実施。

この冊子は再生紙を使用しています